

九州食の商談会 食の魅力とこだわりが集結!! フード・アグリアイランド九州2009開催

2009年5月19日、ふくおかフィナンシャルグループ傘下行の主催による「フード・アグリアイランド九州2009」を福岡銀行本店ビルにて開催致しました。九州・山口全域から「こだわりの食材」や「付加価値の高い商品」を取り扱う食品関連企業93社が出展し、百貨店、スーパーなどのバイヤーの方々と活発な商談を行い大盛況となりました。この商談会の模様についてご紹介致します。



展示会場風景(福岡銀行本店ビル10階)

バイヤーの方々のニーズを捉えた商談会を企画

ふくおかフィナンシャルグループでは、昨年11月に「食の商談会」を個別商談形式で開催しました。

この商談会に参加したバイヤーの方々と意見交換する中で最も多かった要望が、個別商談形式とブース展示形式をセットにした商談会の開催です。これは、バイヤーの方々が実際に展示された商品を見ながら商談が行えることや多くの参加企業と自由な形で商談ができることが理由です。

商談が成約に繋がり易くなるよう、バイヤーの方々のニーズに応

えたブース展示形式の商談会を行う場合、会場費や設営費などの費用負担が大きな課題となります。

そのため、今回初めての試みとして、ブース展示会場に本店ビルを利用することで、参加企業の出展料を比較的抑えることが可能となりました。(一般企業5万円、FFG経営者クラブ会員企業2万円)

FFG商談会最多の商談件数と商談成約率のアップ

本商談会において、特に事務局

で注力したのは、個別商談件数を増やすとともに商談の成約率を高めることです。

今回、参加企業の取扱商品に幅広く対応できるよう、催事・生鮮・グロサリー(食料品)など各分野について満遍なく、全国から31名(18社)のバイヤーの方々を招致致しました。

また、商談の成約率を高めるには、バイヤーの方々と参加企業のニーズを如何に効率的にマッチさせるかが重要となります。そこで、事前にバイヤーの方々にヒアリン

図1 個別商談会の状況(前回との比較)

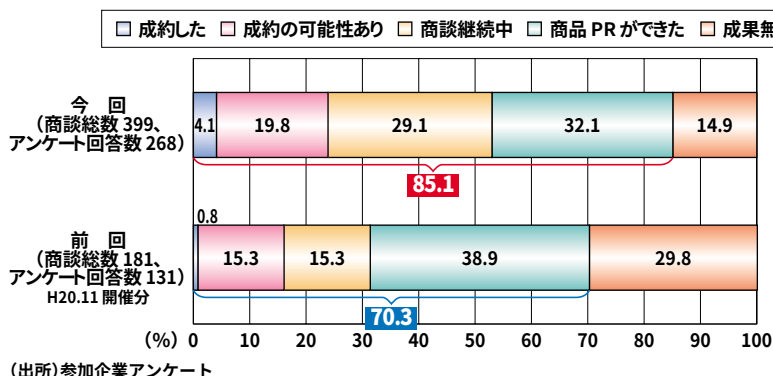
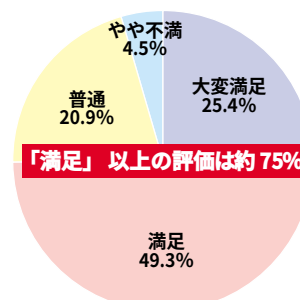


図2 商談会の満足度



グした商談ニーズをベースに参加企業を募集し、その上で参加企業の商談希望を加味した商談を設定するという形式を採りました。

個別商談については、参加企業1社あたり4件程度、本商談会全体では、FFGが主催する商談会としては最多となる400件の商談を設定しました。

このようにバイヤーの方々と参加企業のニーズをきめ細かく商談設定に反映したことが奏功し、商談結果としては、図1のように前回の個別商談会を上回る成約が見込まれる状況です。

また、参加企業の満足度も、回答者の約75%が「満足以上」という高い結果となっています。(図2)

バイヤー、来場者の方々にも好評

個別商談会に参加したバイヤーの方々の感想としては、「催事で直ぐに採用したい商品があった」「九州の魅力のある食材が幅広く取り揃えてあり、実のある商談ができた」など大変好評です。

また、ブース展示会場は、個別商談会の参加バイヤーの方々以外に、FFGのネットワークにより百貨店・スーパー・商社、ホテル、給食会社、レストラン等の食品仕入担当者やバイヤーの方々、大学、調理師学校、行政関係者など約850

名のご来場をいただき、フリーの商談と商品PRの場となりました。

ご来場されたバイヤーの方々からは、「展示スペースがコンパクトなので、商品が絞りがまれ商談がしやすかった」「会場へのアクセスが非常に良いので、交通手段や時間を気にせず商談ができた」などのご意見も頂きました。

産学連携と大学産まれの食フェア

また本商談会では、九州内の大学と食品メーカーとの共同開発(共同研究)により商品化された“産学連携食品”を特集した「大学産まれの食フェア」を同時開催致しました。

現在、ふくおかフィナンシャルグループでは、地域産業と大学との技術マッチングのお手伝いなど産学連携に取り組んでいるところであり、今回の企画も、この一環として取り組んだものです。

出展された商品は、農学系、工学系の先生方との連携によりブランド化された日本酒、ソーセージ、新種の野菜、焼酎、お茶、健康飲料水など分野は様々ですが、いずれも、一味違った特徴を持つ興味深いものばかりで、一際、ご来場者の注目を集めました。

これら商品を取り扱う企業は、起業間もない大学発ベンチャーから、業歴の長い老舗メーカーまで

幅広く、求めるニーズも様々です。ある企業からは、「私の会社は、設立2年目。まさにこれから販路拡大に傾注していく段階。今回の商談会は今後の販路拡大の良い機会となった。良い商談を頂いたので、当社の生産体制を十分に整えながら事業拡大に繋げたい」とのコメントを頂きました。

自社商品の差別化や付加価値向上を目指すうえで、大学が持つ技術を活用することは極めて有効な手段の一つであると思われます。このような企業のニーズにお応えするため、引き続き産学連携の場の提供に取り組んでいきたいと考えています。

最後に

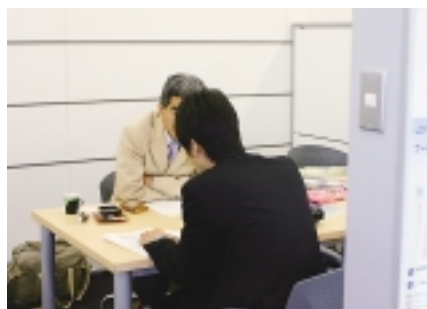
今回の商談会開催に当たり、開催趣旨にご賛同いただきました大分銀行・宮崎銀行、及び行政機関の皆様のご協力により、オール九州による「食の商談会」を開催することができましたこと大変感謝いたします。

今後とも、ふくおかフィナンシャルグループでは皆様の販路拡大やビジネスマッチングに繋がる商談会の開催に努めてまいります。

【お問合せ先】

FFGビジネスコンサルティング

担当：今泉/大野 TEL：092-723-2244



個別商談風景(福岡銀行本店ビル5階ビジネスマッチングフロア)

中国大連市におけるチャレンジショップ開設と個別商談会開催

ふくおかフィナンシャルグループ(以下、F F G)では、九州企業の中国ビジネスをサポートするため、中国大連市においてチャレンジショップを開設し、個別商談会を開催いたしましたので、お知らせします。

1. 「チャレンジショップ」オープン

5月24日(日)、北九州市やF F Gビジネスコンサルティングなどが共同で運営する「日本北九州商品展示販売センター」(通称：大連チャレンジショップ)が多くの観衆が見守る中、関係者によるテー



プカットなどにより華々しくオープンしました。

大連チャレンジショップ出展企業の募集

F F Gでは、大連チャレンジショップの出展企業を引き続き募集いたします。出展期間は6ヵ月単位ですので、今後、11月と5月に商品の入れ替えが予想されます。空いたスペースにつきましては、先着順で出展が可能です。なお、食品、化粧品の展示販売の場合、中国での諸手続きに数ヵ月かかることもありますので、お早めにお申し込む必要があります。

中国市場開拓の足がかりとして、また、テストマーケティングの拠

大連チャレンジショップ概要

名 称	日本北九州商品展示販売センター
設置期間	2009年5月24日～2011年9月
場 所	大連心悦大酒店 (大連市内のホテル)
募集数	60スペース 工業製品等：幅50cm×高さ100cm 食品・雑貨：幅50cm×高さ50cm×奥行き50cm
開設時の出展企業数	49社(59スペース) 内訳：工業分野17社、食品分野14社、 雑貨分野12社、その他6社
機 能	現地スタッフが出展品の紹介を通して中国市場でのニーズ調査を実施し、情報を出展者へ還元
出展対象	【工業製品等】：PRパネル展示など 【食品・雑貨】：小売販売(食品については、大連の日本食スーパーにて一部販売)
出展料(税込) (1スペースあたり)	北九州市内企業：7,000円/月※1 北九州市外企業：15,000円/月※2 ※1 北九州商工会議所会員：5,000円/月 ※2 F F G 3行のお取引先：12,000円/月(左記に加えて、北九州商工会議所会員の場合は10,000円/月)
初回登録料(税込)	10,000円/社※3 ※3 北九州商工会議所会員：無料
出展期間	6ヵ月単位

【出展の条件】

- ・物流費用や諸税、検査費用などは出展者のご負担となります。
- ・食品、雑貨については商品の無償提供が必要です。
詳細は文末の【お問合せ先】までご連絡ください。



ショップ内の商品陳列棚

点として、是非このチャレンジショップをご活用ください。

2. FFG主催の「個別商談会」開催

5月25日(月)、大連チャレンジショップに出展する企業など中国ビジネスに関心を持つ企業を対象とした個別商談会を、大連市政府とふくおかフィナンシャルグループの主催で行いました(参加料は無料)。

本商談会には、中国での販路開拓やパートナーを求める日本企業52社が参加し、中国企業130社と約400件の個別商談を行い、大連市において開催された個別商談会としては過去最大規模となりました。



ショップ入口に設置されている、映像と音声(中国語)により出展企業の商品を紹介するシステム

集計アンケートより

当日は、九州各地の幅広い業種の企業が、大連市政府と福岡銀行大連駐在員事務所とが協力して招致した中国企業と、タイムスケジュールに沿って商談を行いました。参加企業の商談ニーズに基づいて中国企業を選定したことから、具体的で効率的な個別商談が実現しました。予定外に来場する中国企業もあり「商談時間が足りない」という声もありましたが、1社あたり平均8社の中国企業と商談を行い、約8割の企業が「成果があった」と回答されています。



個別商談風景Ⅰ

参加した日本企業52社の半数以上が初めて海外商談会・展示会に参加したとのことでしたが、「中国企業の勢いを感じることができ、大変勉強になった」「大連でのビジネスに自信が持てました」といった感想が聞かれました。

大連で関心の高い分野

中国企業の関心が高かったのは、化粧品、食品(特に健康食品)、介護用品など、生活水準の向上によ



個別商談風景Ⅱ

り高い需要が見込まれる商品に加えて、環境、造船といった大連市が産業集積に力を入れている分野でした。

サンプルや見積もり依頼を受ける企業や、商談会后、現地の工場や店舗に出向くなど、早速具体的な商談に進展している企業も多数見られました。

ふくおかフィナンシャルグループの中国ビジネス支援

ふくおかフィナンシャルグループは、お取引先企業の中国ビジネス支援のため、大連、上海、香港に駐在員事務所を設置しています。今回ご紹介したチャレンジショップや大連商談会以外にも、「ものづくり商談会@上海2009(7月16日開催)」や「日本食品展示商談会in上海(仮称、10月末開催予定)」などを計画しておりますので、是非ともご活用ください。

(長田 修一)

【お問合せ先】

FFGビジネスコンサルティング
担当：長田／渡辺 TEL：092-723-2244